

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

6 2023
月号

vol.683

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



特集

ソーシャルビジネス委員会

～社会課題をビジネスで解決する
ソーシャルビジネス委員会の取り組み～

21世紀型
自立型
企業づくり

右手にビジョン、左手に財務

～社員を最も信頼できるパートナーと考える～

とく はら せい じ
徳原 聖治 氏 (株式会社マンジャ)

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook



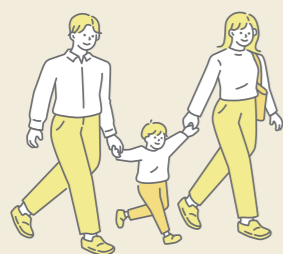
[デザインQR]

ソーシャルビジネス委員会

社会課題をビジネスで解決するソーシャルビジネス委員会の取り組み

福祉、子育て、街づくりと、さまざまな社会課題をビジネスにつなげて
いくソーシャルビジネス。新たな視点でさまざまな活動に取り組む

ソーシャルビジネス委員会の活動を伺ってきました。聞き手 広報部 南史聡(西支部)



大車公認会計士・税理士事務所
大串 和義氏(南支部)

NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしつ
桑原 由美子氏(西支部)

有限会社吉浦ビル
吉浦 隆紀氏(南支部)

まず、ソーシャルビジネスと
いうのはどういうものなの
でしょうか？

吉浦 一般的には社会課題をビジネス
として解決することなのですが、
そういうことはイノベーションをやらな
いできませんから、結果的に、社会課
題を解決する革新的な新しい事業とい
うことになりますね。

本来、お金がないから社会課題とし
て取り残されていることをビジネス化
するというのは、よほど革新的な取り組
みを考えなければいけませんから、そこ
に取り組むことでイノベーションが生ま
れるという考え方は、

同友会の中のソーシャルビジネスの
考え方は、中小企業が取り組む意義と
しては、地域密着型の課題解決という
ことで、大手も環境問題や地球全体の
ことを考えた活動をやっているのです
が、中小企業はより課題に近いところ
で動くことができるということですね。

行政でも目が届かないところに、自社
の強みを生かした活動ができるという
ことです。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



株式会社マンジャ
代表取締役
徳原 聖治氏(博多支部)

詳しくは本誌7ページへ

私が徳原さんを
紹介します！



株式会社フィッチジャパン
代表取締役

船木 友希(博多支部)

私と徳原さんとの出会いは、
今から7年前です。同友会とは
別の会で知り合ったのですが、
同じ年齢ということもあって、
すぐに打ち解け、よく話すよう
になりました。

当時から経営に対して勉強
熱心で、会う度に「学びがねー」
「気づきがねー」と今も変わら
ない大きな声で笑いながら話
していたのを覚えています。

同友会入会後は、副ブロック
長、ブロック長、副支部長と役
職を重ね、また、経営労働委員
会でも役を持たれており、まさ

しく不離一体を体现されてお
ります。

会社の方へと申しますと、お
聞きしている範囲でも、人の問
題やコロナによる売上激減と
いった様々な困難に直面して
きました。しかし、その度に、
考え、実行し、従業員と一丸と
なって、また時には同じ同友会
の仲間と共同して、困難を乗り
越えてきました。

時には弱みも見せるおちゃ
めな面もありつつも、いつも笑
顔と大きな声で周囲にパワー
を与えるリーダーです。しかし
何より、絶えず学び続ける姿勢
こそが、周りを勇気づけ、困難
に打ち勝つ原動力になってい
るのではないかと思います。と
ても尊敬できる経営者です。

撮影後記



株式会社マンジャの徳原社長を訪問いたしました。徳原さんとの最初の出会いは、18年前になります。弊社のオフィスが大名にあった頃、通勤の途中にお店があり、お惣菜を晩ご飯のおかず買い求めておりました。玄海支部にお誘いしようと考えておりましたが、業務用お弁当に業務内容を変えられていきましたので、マンジャさんから足が遠のいていきました。

3年前の博多支部例会に参加した際に、懇親会で再会いたしました。とてもビックリし、嬉しく思いました。同友会では、経営指針作成セミナーにも参加され、経営指針の作成、10年ビジョンの作成とたくさんの学びを実践する行動力のある徳原さんです。ガンバレ徳原!!!

素敵な笑顔の写真が撮れました。感謝しております。ありがとうございました。

撮影・文/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

[前号の訂正とお詫び]

月刊同友5月号(vol.682)「特集 青年部連絡会」の記事に誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

該当箇所:5ページ 3段目 誤 「青全交は第2回の際に福岡で開催しています。」

正 「青全交は第2回と第11回の際に福岡で開催しています。」



4月25日(火)に開催された大牟田支部との合同例会の様子

どのような事例や取り組みがあるのですか？

吉浦 例えば当社は不動産業ですが、空き家物件というのはどうしても賃料が安くなるせいで修繕ができなくなるといった問題を抱えているのですが、そこにDIYを取り入れることで、若いクリエイティブな人が住みたくなる工夫をしています。

桑原 元同友会会員企業の「吉開のまぼこ」の代表に若い人が就任されたこともソーシャル的な活動の一つですね。
吉浦 その方は福岡大学のベンチャー企業論の代表でした。当社も福岡大学の



ベンチャー企業論で代表だった人がうちで働きたいということで、この4月から社長に就任しています。まだ取締役ではありませんが、いずれはファイナンスなどもやってもらうつもりです。

大串 私の事例では、たとえば現在こども大学という埼玉で始まったプロジェクトがあるのですが、私は福岡の立ち上げメンバーの一人として活動しています。

ソーシャルビジネス委員会の取り組みを教えてください

吉浦 現在は2ヶ月に1回の例会をやっているのですが、全国でソーシャルビジネスに取り組んでいる方をお呼びして報告していただいています。同友会としては会員同士の交流を図ることがメインの活動だと思っておりますが、ソーシャルビジネスというのは今までなかった発想を学ばないといけませんから、そういう意味では外から新しいものを吸収する必要がありますのではないかと思います。支部例会は会員同士の学び合いやつながりが重要ですが、委員会では外から尖った意見を取り入れて、自分の興味に合った分野を深掘りできることがメリットですね。



ソーシャルビジネス委員会にどのくらいの人数が参加しているのですか？

吉浦 中心メンバーは7名くらいで、例会は10名から、多いときは50名くらいとばらつきますね。興味のあるテーマや報告者だと多く、ニッチな話だとしても少なくありません。

会員さんも自社の興味のある分野に参加することになりますから、テーマが



大串 最初は吉原勝己さん(南支部)が比較的長く委員長をされていたのですが、現在は2年ごとに委員長を交代しています。そして、2014年に吉原さんの発案で「街づくり」「子育て」「福祉」の三本柱をテーマにすることにしました。これは現在でも続いていますね。
当時はSDGsという言葉もやっと世に入ってきたくらいの時期でしたが、その時からそういった先進的な考えを取り入れてきました。
また、他県との連携にも取り組んでいて、2014年には長野県でソーシャルビジネスの合同勉強会が行われました。

福祉や子どもに偏りすぎると人数が減る傾向にあります。

桑原 逆に3月の事業承継のときは集まりましたね。講演されたのが福岡大学のベンチャー企業論の卒業生でしたから、大学生がたくさん来られたのは特徴的でした。個人的には、人を集めるのが不得意な方や人手不足に悩んでいる方に参加していただいて、学生の柔軟な行動力を見てほしいなと思いましたね。

また、超短時間雇用というテーマもありました。東京大学先端科学技術研究センターの近藤武夫先生に来ていただいて、時間給という考え方を考える話を伺いました。

例会の報告を聞く中で自分がやっていることが実はソーシャルビジネスだったという気づきを得るということもあります。その部分をもっと伸ばしていければいいですね。

私自身もNPOをやっているのですが、人に言われるまで自分がソーシャルビジネスをやっているという自覚がありませんでしたから、そういう方が増えると思うと思います。

ソーシャルビジネス委員会の活動の経緯を教えてくださいませんか？

ソーシャルビジネス委員会の活動は同友会の枠を超えたもののように思えるのですが、同友会との接点というのはありますか？

桑原 もちろん例会のテーマを考えるときは同友会としてどうなのかという議論をします。例えばどんな方をお呼びするのか、会員の皆さんに興味を持ってもらうテーマは何か、チラシの内容をどうするのかなど、例会を組み立てるときは必ず同友会活動としての視点で考えています。

各自の活動は幅広いのですが、それを例会という形に落とし込むときに同友会の考え方をベースにするイメージですね。

吉浦 たとえば地域というテーマだなかなか関心が向きにくいので、これをどう伝えれば会員の皆さんに興味を持ってもらえるかを考えますね。来ていただいたら自社の中に革新性を取り入れたら、もっと違う展開が生まれたりする可能性があるがあるので、しっかり伝えていきたいですね。

ソーシャルビジネスは未来に対しての取り組みの話です。現在自社に課題を持っている方、困っている方にとっては何かを得る機会になると思います。



右手にビジョン、左手に財務
社員を最も信頼できる
パートナーと考える

現在のソーシャルビジネス
委員会の大きな取り組み
というのがありますか？

吉浦 ソーシャルビジネス委員会が主催している取り組みとしては「九州DIYリノベWEEK」という活動があります。これは街づくりがテーマになるのですが、現在九州で活動されていることを共有しようという取り組みで、10年前から毎年恒例でやっています。

内容は、20程度のチームが短い時間で事例報告をして、懇親会でより深い情報共有をしたり、別の日にツアーを組んで現地に行ったりするということですね。
当日は半日くらいの時間で、100人から200人くらい参加します。
桑原 もう10年ほどやっているのですが、続けることで参加される方も増えてきて、つながりが広がっている感じですね。



リノベWEEKというのは、一週間くらいかけるイベントということですか？

吉浦 最初は一週間という期間の中で、福岡県内の事業者が現地に行ったらいつでも案内してくれるようにして、最終日にみんなで集まって報告会をしようというものでした。それが、規模が大きくなるにつれて活動が九州に広がって、一週間というまとまった時間が取れなくなりましたから、1日だけ集まって、あとはツアーを組んであちこちに訪問するという形に変わっていきました。



新型コロナの影響はありましたか？

吉浦 その時は集まることができませんでしたが、吉浦さんが全国各地で動画を撮っていただいて、それを共有するという形で開催しました。ですから、途切れたことは一度もありません。

ソーシャルビジネス委員会の活動の幅はかなり広いですよ

桑原 委員会の活動というより、委員会メンバーの活動の幅が広いですね。報告者も全国や、海外だと韓国から来ていただいて、話をさせていただいているのですが、支部例会の報告よりも気軽なのはソーシャルビジネス委員会ならではのと思います。興味のある人がいたら、とりあえず声をかけて話をさせていただくような感じですね。
ただ、いつも新しいことを話していただくから、参加される方には刺激になりますよね。いろいろなところで生まれているイノベーションを、ソーシャルビジネス委員会という入り口を通して知ってもらおうということが同友会らしさですよ。

最後に読者へメッセージをお願いします

吉浦 今、中小企業に求められるものは自社だけではなくて、地域だったり環境だったりしますよね。そこに目を向けるきっかけになるのがソーシャルビジネス委員会の例会だと思います。ですので、会員の皆さんにもぜひ参加していただいで、議論をしながら学び合いたいと思います。
桑原 ソーシャルビジネス委員会で活動をしていて、おもしろいなと思うのが一番大きいですね。大変だなと思うことがなくて、いろんな人がいろんな課題を抱えていて、それをどうやって解決していくかというのをみんなでワイワイ話し合うのが楽しいと思います。
大串 もちろん支部例会での気づきというのはあって、それは自社の課題などを書き留めたりするのですが、ソーシャルビジネス委員会の場合は自社の方向性ですとか、全然違う視点を書き留めることが多いですね。

取材の協力ありがとうございます。

株式会社マンジャ 代表取締役
徳原 聖治 氏 [博多支部]

創業して試行錯誤を重ねる徳原聖治さん。経営指針書との出会いが経営を変えました。

創業したものの

今回の取材は(株)マンジャの徳原聖治さんです。徳原さんは、1973年に山口県宇部市に生まれました。大学を卒業後、生鮮食品会社に就職し、百貨店などで販売業務を担当しました。

独立を決意し、2002年に福岡市中央区小笹で「惣菜の持ち帰り」のお店として(株)マンジャを設立しました。社名の由来はイタリア語で「食べる」を意味する mangiare と、万人の方をイメージした「万者」を掛けた造語です。

中食とは、外食・内食の対義語で、持ち帰ってすぐに食べられる惣菜やコンビニ弁当などを指します。徳原さんは流行の魁として、和・洋・中の食材50品目をそろえ、イートインコーナーも設けました。メディアにも取り上げられ、上々のスタートを切りました。

取材／広報部
文章／菅原 弘(東支部)
写真／富谷正弘(玄海支部)



ところが、そもそもお客様は品数が豊富なのも楽しみの一つのため、品薄になると不満が続出します。それをカバーするとフードロスが増えてしまい、20%に及んだことがあります。また、お客様が集中する来店時間帯は、駐車場が混み合い、クレームが発生しました。そうして、経営は赤字となっていきました。赤字を取り返そうとすると長時間労働となり、創業時からの料理人の退職が相次ぎました。店舗だけの売上だけでは採算が合わず、スーパーの卸販売、全国の百貨店の催事での販売など販路を広げましたが、安定した売上にはつながりませんでした。2009年から地域の空港に空弁(そらべん)を、2011年には博多駅ビルの開業もあり、駅での弁当や寿司の販売と販路を広げられました。



さらに卸販売だけでは厳しいと思い、「仕出し」に力を入れました。「何とか売上はありましたが、まだまだ黒字というわけにはいきませんでした」と徳原さんは振り返ります。

『経営指針書』を学ぶ

2014年のことです。資金繰りに苦しみ、経営の危機に瀕する徳原さんを前職の新人社員の時からずっと見守っていた外部コンサルの方から、名古屋のベテラン経営者に相談することを勧められました。決算書3期分を持ってくるように言われ、恥ずかしながら持参しました。そこで同年代で異業種の経営者4人と外部コンサル、ベテラン経営者2人で勉強会が始まりました。資金不足で悩んだ経営者、後継者の課題などそれぞれの立場で生き方を模索していききました。そこで徳原さんが出会ったのは、まさに『経営指針書』だったので。

社員と共に学び育つことが大事なのです。経営者としての『覚悟』が決まりました。

経営者の経営姿勢の確立、経営指針書の成文化と実践……ここまでは、徳原さんもやってきたわけですが、「社員を最も信頼できるパートナーと考え高い次元で共に育ちあう教育」が重要であるということに気づきました。

「私は独りよがりでした。社員と共に学び育つことが大事なのです。経営者としての『覚悟』が決まりました」。

1年後、なんとNo.2が復帰してきました。彼いわく「マンジャで自由にやらせてもらったことを再確認しました。大手企業ではできませんでした」。

こうして全社一丸の体制が築かれていくのでした。

その後迎えたコロナ禍では、売上8割ダウンという壊滅的な状況になりました。



まず経営者としての心構えを確認します。

心情：現在の人として・リーダーとしての思い。
信念：心情を受けてリーダーとしてどう生きるか、その覚悟・決意。
理念：社長の思い・哲学・価値観・人生観・ロマン。

そして徳原さんは次のような経営理念を策定しました。

『心躍るものづくりとサービスの創造』

その後、1年かけて10年ビジョンや経営計画、財務分析、SWOT分析と展開していききました。

10年ビジョン

創業から赤字続きだった徳原さんは、到底10年後のあり様など描けるはずありませんでした。しかしこうアドバイスされたのでした。

- ・大風呂敷を広げてみる。
- ・願いが叶っていると考える。
- さらに重要なことは
- ・こうなりたいと願うこと。
- ・こうなりたいと描くこと。
- ・こうなりたいと信じること。

徳原さんは勇気を出して次のようなビジョンを描きました。

「フードプロデューサーとして、ご当地の良さを出すプロフェッショナルとなる」

具体的には弁当惣菜・寿司の企画・製造・販売や働く環境、人間力やスキルの向上に至るまで、事細かに考えました。「今になって振り返ると、描いたことが結構実現していますね」と徳原さんは語ります。

財務分析とSWOT分析 そして経営計画

財務分析をして気づいたのは、売上の高い部門（空港向けの弁当）が大きな赤字を出していることでした。空港向けの弁当は製造する時間帯（早朝）が通常の



敬遠しがちな作業があります。「うちのベテランさんが根気よく対応してくれています。これが中小企業の生き残る道であると、マンジャは挑戦していきます。そして、社員とはコミュニケーションを深めていきます。何のために働いているのか。それはお客様に喜ばれ、充実した職場環境を築き、自分の人生を充実させるためです」。

新しい経営理念は「あるとうれしいカタチにします」となりました。

自社にしかできない仕事で 付加価値を高める

次に目指すのは分散型経営です。新規に黒毛和牛の商品開発です。黒毛和牛を6次産業化した方と出会う機会がありました。現在徹底して勉強しています。良いものをよりリーズナブルに提供できないか考えて取り組んでいます。また先方で使わなくなった部位をウチの加工技術で再利用するというSDGsの活動にもつながっています」と話します。

「私は経営危機が怖くて学び続けてきました。今ある経営課題を明らかにしていきます。そして経営指針書をアップデート（更新）していき、危機を未然に防ぐことができると思います。学んでいるうちに、ビジョンを描くことが大事だと

お弁当とずれるので人件費がかさみます。そこでその部門の深夜製造を取りやめ、お昼に作れる商品の開発を進めて参りました。改めて自社のS（強み）W（弱み）O（機会）C（脅威）を分析していき、選択と集中を図ります。経営計画は10年後から逆算して5年後・単年度計画を作成していきます。この作業をしていくうちに赤字から黒字への転換が図られていきました。

No.2の退職

「経営がわかってきた私が経営指針書を作成してトップダウンで徹底すれば会社はうまくいく」と徳原さんは考えていました。

黒字転換を喜んでいながらも束の間、創業時から会社を支えてくれた営業部長、いわゆるNo.2が退職し同業他社へ転職してしまいました。彼は現場一辺倒で、売上形成の重圧と過重労働などで疲弊していたのでした。

同友会で『労使見解』

その頃、(株)フィッチジャパンの松木友希さん(博多支部所属)から同友会を紹介され入会しました。経営指針作成セミナーに参加し「労使見解」に出会います。

わかってきました」。

取材の最後に徳原さんが考える自立型企業についてお伺いしました。

「他社ではできないことをやり、付加価値を高めて商品やサービスを提供していく会社でしょうか。ヒトを大切にしたい。モノ・カネ・情報を財務の面から分析していく。やるかやらないかというのは経営者の決断です。多数決ではないですね。右手にビジョン、左手に財務です」と締め上げていただきました。

取材協力ありがとうございました。

株式会社マンジャ

創業 2002年12月
住所 福岡市中央区小笹1-22-25
電話 092-531-9888
従業員数 35名(うちパート31名)
事業概要 法人団体専用のお届け弁当を営んでおります。

http://www.mangia.jp



支援事業所応援イベント

第26回

福岡フレンドシップフェスティバル 2023

イベント：第26回 福岡フレンドシップフェスティバル2023
 開催日：2023年4月23日(日) 10:00~16:00
 会場：福岡市役所前広場

青年支部主催の一大イベント「福岡フレンドシップフェスティバル」が、4月23日(日)福岡市役所前広場にて開催されました。コロナ禍の中、毎年中止を余儀なくされてきましたが、4年越しに開催された当日は晴天にも恵まれ、大盛況のうちに終わりました。

文：KOHO株式会社 林田 孝一(ひびき支部)

どんなイベント？
 出店とステージイベントで構成されるお祭りです。出店は青年支部の飲食コーナーを除けばすべて支援事業所です。支援事業所の利用者さんによる手作りお菓子や日用品、小物など豊富なラインナップが並びます。ステージイベントは地元で活動しているミュージシャンやユニット、ダンススクールなどによるショーが目白押しで「F・F」に花を添えながら、合間に支援事業所のPRタイムも設けながら進行します。

4年越しに無事開催
 「F・F」は毎年4月に開催していて、前回開催したのが2019年。2020年はコロナの感染流行が発生し開催直前で中止せざるを得ませんでした。2021年、2022年も「今年こそは」と意気込んでいたのですが、感染流行が収まらずに開催できず、このたび4年越しに開催することができました。

当日は天気にも恵まれ、老若男女問わず多くの皆様にご来場いただきました。例年2000名規模と言われていますが、私の印象としてはそれ以上の方がご来場されていたのではないかと思います。出店数も例年を大きく上回る30の支援事業所に加えて、青年支部関連で飲食



「F・F」の意義
 いろいろな経営者団体がこのようなお祭りのないイベントを催していますが、支援事業所を応援するお祭りイベントは同友会ならではの思いです。利用者さんは普段、それぞれの支援事業所内で商品を作っていますが、この「F・F」は来場者と直接交流しながら作った商品を買ってもらえる大切な機会だとの声をいただいています。そして、誰でも気軽に参加しやすいオープンな会場でのようなイベントを開催することは、青年支部、ひいては福岡同友会の対外的なアピールにもなります。

Interview

実行委員長に聞く

「福岡フレンドシップフェスティバル」とは？

正式名称は「支援事業所応援イベント 福岡フレンドシップフェスティバル」と言います。青年支部をはじめ、ご存知の会員さんたちの間では通称「F・F」と呼び合っています。支援事業所という身体にハンディキャップを持った仲間たちが働いている施設があることやその商品を、より多くの方々に知っていただくためのイベントです。



福岡フレンドシップフェスティバル実行委員長
 株式会社九秀製本ドットコム
 みやち たかひろ
宮地 恭平 氏(青年支部 支部長)

フレンドシップフェスティバルを行う3つの目的

- 1 支援事業所という、身体にハンディキャップを持った仲間たちが働いている施設があることを、より多くの市民の方たちにお伝えすること。
- 2 支援事業所の仲間たちと市民の皆様、そして我々同友会の会員が、共にふれあい、明るく楽しい交流の場を創ること。
- 3 フレンドシップフェスティバルに参加する支援事業所のイベント(バザー・飲食等)を全力でバックアップし、各支援事業所の収益確保に協力すること。

支援事業所のご紹介

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------------|
| 1 やまと更生センター | 11 サカセル生みの松原事業所 | 21 Create803 |
| 2 ヴィオラ | 12 ひまわりパーク六本松 | 22 宰府園 |
| 3 一般社団法人 れんこん | 13 丘の上の街 | 23 おおぞらハウス |
| 4 合同会社ゆめいる舎 | 14 風ひかり作業所 | 24 ひかり作業所 |
| 5 ひまわり園 | 15 ふるは一と | 25 ぎやらりいゆう |
| 6 セルプ清浄 菓子工房さくら | 16 楽天地ファーム | 26 セルプちくほ |
| 7 ゴーマル | 17 多機能型みらい | 27 すいー工房 Mana Mana |
| 8 アムス | 18 ほのぼの HaKaTa | 28 野の花会 |
| 9 ドンマイ | 19 工房陶友 | 29 株式会社カルベ・ディエム |
| 10 ねおん | 20 かしらはホーム | 30 雨あがりの虹 (※飲食エリア出店) |



今回はじめて協賛企業を集める取り組みをしたのですが、予想以上に多くの企業にご協力いただきました。SDGsにもつながるイベントだと思われ、同友会としてSDGsを重視している点で見ても、「F・F」に関わることはSDGsの実践のひとつだと思えます。

また、この「F・F」は青年支部の一年を締めくくる一大イベントです。支部の22年度がスタートした昨年5月には実行委員会を立ち上げて準備を進めてきました。22年度は「外に飛び出そう」を青年支部の方針に掲げ、他支部の例会にも積極的に参加しながら早い段階から「F・F」をアピールしてきました。告知、金券購入の協力依頼、協賛募集なども含め、さまざまな準備を通して支部内の団結も深まりました。

大変だったけど報われた

「F・F」は4年のプランクがあったので、運営が初めてのメンバー主体だったこと、会場を提供いただいた福岡市役所とのやりとり、物価高騰に対応した運営費の管理など大変なことはいろいろありましたが、当日みなさんが楽しそうに過ごしている様子を見て、すべて吹き飛びました(笑)。運営メンバーもみな楽しかったと言っています。



今後の展望は

「F・F」の基本は支援事業所応援イベントです。そこを大切にしていきたい。にも、私たち青年支部が多くの支援事業所と関係を深める活動を23年度は行っていきたいと思えます。具体的には支援事業所を訪問して理解を深める取り組みを考えています。

また、この「F・F」の取り組みを通して、他の支部とも積極的に交流していきたいです。青年支部は年齢制限もありません(笑)、他支部とのつながりができていけば、卒業後も移籍しやすいと思えます。

青年支部ならびに「F・F」を今後ともよろしく願っています。

2022年度 第12回 理事会だより

開催日時 2023年4月12日(水) 14時30分~16時48分
 会場 振興センタービル401会議室
 出席数 37名(出席率82.2%) 議長 坂本 敏弘(副代表理事)

○人を生かす経営推進本部より

2023年度の経営指針作成あすなろ塾の開催日程が確定致しました。

開催日:5月20日(土)、7月22日(土)、10月14日(土)、2024年1月20日(土)
 多くの方に参加いただき、経営指針作成セミナーを受講ください。
 詳細はe.doyuでご案内致します。

○経営者フォーラムについて

第29回経営者フォーラムの概要が下記の通り開催されることとなりました。

- 開催時期:2023年10月第3週・第4週・第5週
- 開催会場:福岡県内会議室、ホテル等
- 開催内容および企画担当および実行運営体制(順不同)
 - <テーマ>変化を捉え、新たな飛躍へ!
 - <分科会>各本部で担当(人を生かす経営、仕事づくり、同友会づくり、地域づくり)
 - <全体統括>小林委員長
 - <推進・運営組織>支部、委員会・部

開催にあたって

- ① 上記内容を一つにまとめた「案内リーフレット」を作成し、会員みなさんに参加を呼びかけます。
- ② 参加費は交流会を除いて「無料」として企画します。交流会参加費は実費を参加者が負担します。
- ③ 最後の分科会開催日の終了後交流会を開催します。
- ④ 各支部で例会に振替える場合は、どれか一つを「支部で選択する」、もしくは「会員が自由に選択できる」ようにし、いずれの場合も「支部例会に参加」とみなします。
- ⑤ 日時を変えて開催することで、会員はどの分科会にも参加できます(最大4つの分科会+交流会に参加も可能)。
- ⑥ 企画にあたって、開催時間を昼開催と夜開催とに分けることで、様々な状況の会員が幅広く参加できる状況をつくりまします。

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

チームワークが発揮できた

4年ぶりの開催ということもあり手探りで当日を迎えました。天気にも恵まれ想定以上の来場客で大賑わいでした。その結果、青年支部会員が一丸となり、忙しい所を手の空いた人が積極的にフォローへ入ったり、イベントを誰よりも楽しもうとしたりとチームワークが発揮できていたように感じます。支援事業所さんへの支援事業でもありますが、青年支部のやるべきややる!という姿をお見せできる場でもあったのではないかと思います。



オフィスANAN. 阿南 善久 氏(青年支部)

新たな交流の生まれる場

「F・F」2023当日は、お天気に恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。出店している支援事業所みなさんも、久しぶりの「F・F」にとても気合が入っている様子でした。初参加の支援事業所が多く、新たな交流が生まれる場にもなりました。運営側の私たちは当日までバタバタとしましたが、他支部のみなさんやボランティアの方々のお力添えをいただいで、大きなトラブルもなく「F・F」を開催できたことを大変嬉しく思っています。



寺田知未司法書士事務所 寺田 知未 氏(青年支部)

運営メンバーの声

第28期役員研修大学

6/3 土 10:00~18:00 <定員70名>

- 振興センター 202会議室
- 第1講『同友会運動を自社経営に生かす』
高谷 幸一氏 株式会社ユニティ 代表取締役 (福博支部)
- 第2講『人を生かす経営の実践』
貞兼 朋記氏 株式会社ルックルック 代表取締役 (南支部)
- 第3講『運動を推進するリーダーの役割』
市丸 皓士氏 有限会社フライン 代表取締役 (ひびき支部)

15 木 18:00~20:30

福博支部
6月例会

10億円企業の作り方
会社崩壊の危機を救ったのは同友会労使見解だった

- 天神ビル11階11号会議室
福岡市中央区天神2-12-111F ☎0120-323-920
- 水谷 崇氏 有限会社楽天地 代表取締役 (福博支部)

15 木 18:00~21:00

中央支部
6月例会

心ある黒字企業とは(仮)
~存続する企業が大事にする理念と財務~

- 天神チクモクビル
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 白川 正芳氏 一般財団法人日本のM&A推進財団 理事 (西支部)

15 木 18:30~21:00

福友愛支部
6月例会

今ここにある危機と向き合い続ける
~苦境を乗り越える経営者の不断の思いと行動とは~

- アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-287-9500
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 吉住 征一氏 株式会社リーシングサポート 代表取締役 (福友愛支部)

15 木 18:30~21:00

りょうちく支部
6月例会

りょうちく支部設立の経緯

- 未定
- 鐘江 守氏 東亜染工株式会社 代表取締役社長(りょうちく支部)
- 林 忠範氏 株式会社十八防災システム 取締役会長(りょうちく支部)

20 火 18:30~21:00

博多支部
6月例会

変化をチャンスに変えた 4人の証言
~「新しい時代」に求められる、経営者の資質とは?~

- 天神ビル11階11号会議室
福岡市中央区天神2-12-1-111F ☎0120-323-920
- ファシリテーター：森田 俊康氏 株式会社フイゴ 代表取締役 (博多支部)
- パネラー：井福 教子氏 株式会社プリル 代表取締役 (博多支部)
- パネラー：嘉村 俊明氏 株式会社コロコビムラ 代表取締役 (博多支部)
- パネラー：川原 史郎氏 メディカルケア合同会社 代表社員 (博多支部)
- パネラー：祐恒 竜也氏 株式会社済々社中 代表取締役 (博多支部)

20 火 18:30~21:00

福友和支部
6月例会

社員と共に目指す全社一丸経営

- アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-287-9500
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 本田 幸一郎氏 株式会社アルマデ 代表取締役 (福友和支部)

20 火 18:30~21:00

玄海支部
6月例会

人工知能(生成AI)が世界を変える
ChatGPTとは何か?

- 天神チクモクビル大ホール
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 崔 博徳氏 株式会社セガン 代表取締役 (玄海支部)
- 平田 祐樹氏 タケダ情報機器株式会社 後継者 (玄海支部)

20 火 18:30~21:00

かすや支部
6月例会

かすや支部のはじまりとこれから

- 同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 田中 潤一郎氏 有限会社田中凸版 代表取締役 (かすや支部)
- 釘田 直樹氏 くぎた経営労務事務所 代表者 (かすや支部)
- 田中 宏之氏 九州SSK株式会社 代表取締役社長 (かすや支部)
- 古澤 正也氏 有限会社寿モーターズ 代表取締役 (かすや支部)

20 火 19:00~20:30

青年支部
6月例会

ボウリング最強は誰だ!? 俺だー!!

- ラウンドワン天神
福岡市中央区天神2-6-12 ☎092-720-8101

21 水 18:30~20:40

西支部 6月例会
(同友会西支部を知る会)

同友会で学び成長したこと、そして人との出会い

- 天神ビル9号会議室
福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 姫島 陽介氏 株式会社アスコム 代表取締役 (西支部)

21 水 19:00~21:00

大牟田支部・有明支部
6月合同例会

同友会を知る会(仮)

- 大牟田文化会館研修室
大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
- 古賀 渉太氏 有限会社九州ユアール工業 常務 (有明支部)
(他 打診中)

女性経営者全国交流会in福岡 ※参加締切6/7(水)

《スケジュール》

6/22 木

- 12:00 受付開始
- 13:00 分科会開会
- 18:00 分科会終了
- 18:30 懇親会
- 20:30 懇親会終了

6/23 金

- 9:00 全体会開始
来賓挨拶
- 10:00 分科会報告
記念講演
- 11:30 まとめ
- 12:00 閉会

23 金 18:30~20:40

久留米支部
6月例会

ビジョン発表会

- ハynesホテル
久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
- 栗原 朋宏氏 株式会社ベストプランニング 代表取締役 (久留米支部)
- 小野 賢太郎氏 株式会社東洋硬化 代表取締役社長 (久留米支部)
- 浅野 明裕氏 有限会社アサノ自動車 専務取締役 (久留米支部)
- 稲葉 雄大氏 株式会社イナバ 取締役 (久留米支部)
- 荻原 知明氏 ほとめき法律事務所 代表者 (久留米支部)

27 火 18:00~19:45

南支部
6月例会

新会員歓迎のつどい&同友会南支部を知る会

- アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-733-1310
- 倉本 明彦氏 株式会社システム企画 代表取締役 (南支部)
- 泉田 浩陸氏 株式会社リンク 代表取締役 (南支部)

27 火 18:30~21:00

FAST
6月例会

- 振興センター
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234

第188回フォローアップセミナー

6/29 木 18:00~21:00

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
福岡県中小企業振興センタービル11F ☎092-686-1234
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)

7/8 土 13:00~17:00

60周年記念事業
実行委員会

創立60周年記念事業企画
SDGs勉強会「やるばい!SDGs」
持続可能な社会づくりを社員さん・家族とともに

- 福岡アイランドシティフォーラム(アイランドアイ)
福岡市東区香椎照葉6-6-6 ☎092-665-0830
- ①SDGsと企業経営基礎セミナー
②会員企業の実践報告
③SDGsカードゲーム
④SDGsウルトラクイズ





月刊

同友

6

月号
2023

vol.683

同友すばる委員会事業承継塾10周年記念講演

「ある日突然の事業承継」
～40億円の借金を背負う、
それでも人生はなんとかなる～〈報告者〉 株式会社 ユサワフードシステム 代表取締役
湯澤 剛 氏(神奈川同友会)

〈開催日〉 2023年4月21日(金)

文 貞池 龍彦(中央支部) 写真 富谷 正弘(玄海支部)

同友すばる委員会事業承継塾10周年を記念して、電気ビル共創館で講演会が開催されました。報告者に株式会社ユサワフードシステムの代表取締役 湯澤 剛氏(神奈川同友会)をお招きし、「経営者にどんなに苦しくとも勇気・元気・希望を与え、自社の経営の発展に活かしていただく」という趣旨でご講演をしていただきました。



湯澤さんはどんな苦難に出会っても、自社の状況をしっかりと受け止め、具体的な対策を練り、まずは一步を踏み出して一つ一つ着実に解決してこられたそうです。この取り組み方は私でもすぐに実践できると思えました。また、湯澤さんは事業承継計画によるスムーズな承継の重要性をうたえかけられました。

参加できなかった皆さんには、湯澤さんの著書をおすすめ致します。今回の講演内容がほぼ網羅されています。一部抜粋してご紹介いたします。

「ある日突然40億円の借金を背負う - それでも人生はなんとかなる。」
湯澤 剛 著/PHP研究所

16年間、沈没寸前の会社の経営に悪戦苦闘する中で、私は少しは成長できたかもしれない。これまでのすべての出来事にも意味があったのだと、最近思えるようになった。今もまだまだ経営は問題だらけであり、経営者としても人間的にも私は未熟である。この先も、どんな苦難がどれだけ待っているかわからない。それでも私は今、この先何があっても「必ずなんとかなる」と信じている。



あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール / s_asahi@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 旭まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366

[デザインQR]

今月の『月刊同友』はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 6月30日(金)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。